

イノベーションハブ構築支援事業 中間評価報告書

1. 事業の目的

独立行政法人通則法が改正(平成26年6月13日)され、平成27年4月1日より、我が国の科学技術の水準の向上を通じた国民経済の発展その他の公益に資するため研究開発の最大限の成果を確保することを目的とする法人として、国立研究開発法人が誕生しました。

第5期科学技術基本計画においては、国立研究開発法人はイノベーションシステムの駆動力として、組織改革とその機能強化を図ることが求められています。

本事業は、国立研究開発法人の機能強化を支援し、グローバルな競争環境の中で優位性を発揮できるよう、また我が国の研究力・人材力強化の中核的な拠点として必要な役割を果たすことができるよう、各国立研究開発法人の使命・役割に応じた国際的な拠点化や国内外の関係機関との連携、すなわち「イノベーションハブ」の構築を進めるものです。

国立研究開発法人の運営費交付金等による独自資金と、研究開発成果の最大化(飛躍)に向けて支援する科学技術振興機構(JST)の資金をマッチングさせ、国立研究開発法人がイノベーションを駆動させる基盤＝イノベーションハブを築くのに必要な改革を推進するものです。

2. 中間評価の目的

イノベーションハブの構築状況や運営状況を把握し、これを基に適切な資源配分及び計画の見直しや中止等を行うことにより、イノベーションハブ構築計画や運営の改善及び機構の支援体制の改善に資することを目的として実施します。

3. 評価の方法

(1) 実施日時・場所

- ・平成29年11月6日(月) 9時～17時 JST東京本部別館2階セミナー室
- ・1ハブ90分 (プレゼン30分、ディスカッション45分、評価委員意見交換10分、入替5分)
総括審議 30分
- ・実施件数 4件
 - －物質・材料研究機構(NIMS)
『情報統合型物質・材料開発イニシアティブ』
 - －宇宙航空研究開発機構(JAXA)
『太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・活動領域拡大に向けたオープンイノベーションハブ』
 - －防災科学技術研究所(NIED)
『「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ』
 - －理化学研究所(RIKEN)
『高精度の予測に基づく予防医療の実現に向けた疾患ビッグデータ主導型イノベーションハブ』

(2) 出席者

①イノベーションハブ構築支援事業評価委員(評価者)

	氏名	所属
委員長	三島 良直	国立大学法人東京工業大学 学長
委員	大島 まり	国立大学法人東京大学大学院 情報学環 教授
委員	須藤 亮	株式会社東芝 特別嘱託
委員	瀬戸 政宏	国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー
委員	結城 章夫	公益財団法人山形県産業技術振興機構 理事長 国立大学法人山形大学 名誉教授

②ハブ法人関係者(被評価者) 15名上限

③文部科学省(各法人所管課)

JST所管 : 科学技術・学術政策局 企画評価課 評価・研究開発法人支援室

NIMS所管 : 研究振興局 ナノテクノロジー・物質・材料担当

JAXA所管 : 研究開発局 宇宙開発利用課

NIED所管 : 研究開発局 地震・防災研究課

RIKEN所管 : 研究振興局 ライフサイエンス課

(3) 評価項目

「イノベーションハブの構築状況及び法人のシステム改革の状況」、「研究開発の状況」、及び「今後の見込み」について、以下の視点による評価を行い、これらを総合的に勘案した総合評価を定めます。評価の視点はプロジェクト計画書の記載項目を引用して設定しています(プロジェクト計画書に基づき進捗を評価)。

評価項目	評価の視点
ア. イノベーションハブの構築及び法人のシステム改革の状況	・ハブ構想・運営戦略の実現性 ・組織運営体制の整備状況 ・他機関との連携関係の構築状況 ・人材糾合の状況 ・技術(シーズ)や情報(ニーズ、動向)の結集状況 ・社会実装に向けた状況 ・その他(人材育成・アウトリーチ活動等)の状況
イ. 研究開発の状況	・成果の創出状況 ・競争的資金等の外部資金獲得状況 ・企業等のリソース提供状況
ウ. 今後の見込み	・ハブとしての発展性・継続性 ・ロードマップ
総合評価	ア、イ、ウの評価結果を総合的に勘案して評定

(4) 評価指標（評価項目、評価の視点 共通）

評点	評価基準
S	特に優れた進捗があり、優れたイノベーションハブの構築が期待できる。
A	着実な進捗があり、十分なイノベーションハブの構築が期待できる。
B	進捗に一部不足があるが、計画の改善等の努力により、十分なイノベーションハブの構築が期待できる。
C	進捗が不足しており、十分なイノベーションハブの構築に向けては、計画の変更及び運営の改善の努力が特に必要である。
D	進捗が著しく不足しており、イノベーションハブの構築は困難であると考えられ、支援を終了することが必要と判断される。

4. 評価結果

ハブ	総合評価
物質・材料研究機構(NIMS) 『情報統合型物質・材料開発イニシアティブ』	A
宇宙航空研究開発機構(JAXA) 『太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・活動領域拡大に向けたオープンイノベーションハブ』	A
防災科学技術研究所(NIED) 『「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ』	A
理化学研究所(RIKEN) 『高精度の予測に基づく予防医療の実現に向けた疾患ビッグデータ主導型イノベーションハブ』	A

以上